

## 第2章 栄区のまちづくり目標と考え方

### 1 まちづくりの基本理念と目標

栄区プランでは、区民、事業者、行政が一体となって取り組んでいくためのまちづくりの基本理念を次のように表現します。

#### (1) まちづくりの基本理念

### 次世代に継承する緑豊かな生活文化都市

この基本理念には、円海山やいたち川をはじめとした豊かな自然環境、静かで落ち着いた生活環境、そして、これまで培われてきた区民の多様な文化活動などを、未来を担うべき次世代に伝えるとともに、誰もがこのまちに愛着を持ち、暮らし続けたいと思えるような、魅力あふれる栄区にしたいとの願いが込められています。

基本理念を実現するために、次の5つのまちづくりの目標を設定し、この目標に沿って分野別まちづくり方針と各地区まちづくりの目標と方針を定めます。

#### (2) まちづくりの目標

##### 目標1 快適性の高いまちの形成

地域ごとの特性を生かし、快適で利便性の高いまちの形成により、いつまでも住み続けられるまちを目指します。

##### 目標2 道路・交通体系の整備と維持管理

幹線道路の整備、バス路線の再編検討・事業者への働きかけなどにより、利便性と安全性の高い道路・交通体系の整備と、各インフラの適切な維持管理を目指します。

##### 目標3 自然に囲まれた生活ができるまちづくり

水・緑環境の保全・整備や、緑地、公園、河川等のネットワーク化により、地球温暖化対策や生物多様性保全と都市活動のバランスを保ち、いつまでも自然に囲まれた生活ができるまちを目指します。

##### 目標4 地域による支えあいのあるまちづくり

身近な地域コミュニティ施設や福祉施設の充実、区民の自主的な活動の推進より、区民が互いに支えあうまちを目指します。

##### 目標5 災害に強いまちづくり

震災や風水害などの自然災害に強い、安心安全のまちづくりを目指します。

## **2 都市構造の考え方**

### **(1) 生活拠点の考え方**

#### **ア 駅勢圏の大きい生活拠点**

##### **(7) 本郷台駅周辺**

区の中央部に位置し、商業施設や公共公益施設、福祉保健施設が集積しており、区民生活の拠点となっています。地域のニーズに即した商業を含む生活利便施設・福祉施設等の都市機能の更なる集積や、いたち川と駅前公園・広場の一体利用等によるにぎわい・魅力づくりを進め、中心性を高めます。

旧南小菅ヶ谷国家公務員住宅跡地における民間開発で、複合公共施設（地区センター、地域ケアプラザ、区民活動センター）が整備されます。

また、区内各所からのバスアクセスの改善を図られるよう検討し、バス事業者へ働きかけます。

##### **(1) 大船駅周辺**

鎌倉市境に位置し、東海道線・横須賀線など東京都心への広域的な鉄道網や、栄区各地からのバス路線が発着するターミナルなどを有しており、交通結節点として重要な地域です。

高速横浜環状南線・横浜湘南道路の開通後は、首都圏中央連絡道から全国各地へのアクセスが期待できます。このような広域的な自動車交通網と駅周辺のアクセスをつなぐ交通結節点としての機能向上を目指します。

都市基盤の整備を図り、土地の高度利用、商業施設、都市型住宅等の整備による機能の維持・増進が求められています。

#### **イ 生活支援拠点**

駅から離れた郊外住宅地では少子高齢化が進み、徒歩圏内に身近な生活拠点が求められています。高齢者や子育て世代の身近な商業・福祉・就労需要に応える生活拠点の形成を促進します。

### **(2) 水と緑のネットワークの考え方**

#### **ア 水と緑の拠点の保全**

緑の10大拠点である円海山周辺地区をはじめとした、大規模な緑地や良好な水辺空間など、地域の自然環境、生物多様性にとって重要な場所について、区では水と緑の拠点として位置付けていることから、引き続き保全を進めます。

#### **イ 水と緑のネットワークの形成**

区の外周部などの緑地の連なりといたち川、柏尾川を始めとした河川を軸として、野鳥や小動物の移動経路を確保するとともに、区民の散策・レクリエーションのためのプロムナード等の整備により、都市の暑さの緩和や豊かな生物多様性等の実現のため、区全域における水と緑のネットワークの形成を目指します。

### (3) 道路・交通ネットワークの考え方

#### ア 幹線道路ネットワークの整備

環状3号線、環状4号線を東西の軸として、舞岡上郷線、横浜鎌倉線、桂町戸塚遠藤線、下永谷大船線等を南北の軸としてそれぞれ整備、もしくは部分的な整備（既存道路の改修を含む）を推進します。

また、通過交通を分散し、栄区内から各方面へのアクセスを向上させる高速横浜環状南線、横浜湘南道路、横浜藤沢線や、区南東部から区の中心部を直結する上郷公田線の整備を促進し、幹線道路ネットワークの形成を目指します。

#### イ バスの利便性の向上

幹線道路の整備等により、バスの定時運行の促進を図るとともに、高齢化社会に対応するため、小型バス等も活用したバスの利便性の向上について、バス事業者とともに検討します。

#### ウ 交通結節点の機能強化

交通結節点として位置付けられる大船駅は、都市計画道路、駅前広場、自転車駐車場、歩道等の整備を図ります。

東口（笠間口）については、大船駅北第二地区市街地再開発事業により、都市計画道路の拡幅や、駅前広場、自転車駐車場の再整備を進めるとともに、駅から直結する立体横断施設の接続等により歩行者空間の安全確保を図ります。

西口については、横浜鎌倉両市一体整備計画（案）の見直しを図りつつ、大船駅（仮称）北西口の開設を検討します。

バス路線の充実とともに、本郷台駅の交通結節点としての機能更新を図ります。

#### エ 各種インフラの維持管理

道路、橋りょうなどの各種インフラを適切に維持管理し、交通機能を保ちます。

●将来の都市構造図

